

災害時の避難行動を促進するメッセージ事例について

このメッセージ事例は、平成 30 年 7 月豪雨災害を踏まえて行った、県民の避難行動等の調査において、「他者(家族や近隣の人、自主防災組織など)からの避難の呼びかけ」が、避難行動を促進することが分かったことから、自主防災組織の方が風水害・土砂災害から、住民の方に避難を呼びかける際の参考としていただくため、広島県が作成したものです。

については、避難を呼びかける際にご活用ください。

令和 2 年 2 月 広島県危機管理監減災対策推進担当

●災害時の避難行動を促進するメッセージ事例●

※どこに避難するかは、具体的に「〇〇へ」とするか、「避難場所へ」とするかは、状況に応じて付け加えてください。

- ①他者からの、状況（周りの方が避難しているなど）に影響されて避難を促進
- 「近所の方も避難している（避難するそうなので、避難しましょう。）」
 - 「〇〇さん、〇〇さんも避難している（避難するそうなので、避難しましょう。）」
 - 「私も避難するので、避難しましょう。）」
 - 「あなたが避難することで、近所の方も避難すると思うので、避難しましょう。）」
 - 「あなたが避難しなければ、近所の方はそれを見て、避難しなくていい状況だと思い込んでしまうかもしれないので、避難しましょう。）」
- ②他者と、避難の手段（車など）を話し合うことで避難のイメージを思い浮かべて避難を促進
- 「一緒に車で避難しましょう。）」
 - 「一緒に水・食料を持って避難しましょう。）」
 - 「水・食料は、市町が準備してくれるはずなので、まず、避難しましょう。）」
 - 「わたしの家に避難しましょう。）」
 - 「今後、雨が降り続くと避難場所までの道路が冠水する可能性があるので、避難しましょう。）」
 - 「今なら道路は、大丈夫なので一緒に避難しましょう。）」
 - 「これ以上遅くなると暗い中を避難することになりますので、明るいうちに避難場所へ避難しましょう。）」
- ③他者からの、呼びかけから、心情的な作用が働いて避難を促進
- 「あなたが避難することはみんなの命を救うことになるので避難場所へ避難しましょう。）」
 - 「あなたが避難しないと人の命をさらすことになるので避難場所へ避難しましょう。）」
 - 「あなたが避難しないと人に迷惑をかけることになるかもしれないので避難しましょう。）」

●土砂災害・風水害の避難行動の段階的分類（メッセージのタイミングのイメージ）●

